

〈自主的努力項目記入書式〉

提携先	長崎県漁業協同組合連合会	記入日	2010/10/29
登録消費材名	煮干し200g（長崎）、煮干し100g（長崎）		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

・煮干入札が休みとなる水曜日を利用して、月2回の頻度で各産地の煮干加工場廻りを実施し、生産者との情報交換をおこなっています。主な内容としては出荷された煮干しの評価、相場の動向、生産指導、また、商社、消費者からの要望など、お互いの立場から率直な意見交換をおこなっていますが、近年、漁業を取巻く環境は、地球温暖化の影響を受け、水温が上昇したことで生態系にも変化が生じ、魚の回遊、漁期異変、また、魚の産卵場である藻場の枯渇など磯焼け現象などで、水産物の水揚げに大きく影響し、生産数量も減少傾向で推移し漁家経営に厳しいものとなっています。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

・煮干加工場の浜周りのなかで、特に、工場の衛生管理、異物混入防止対策の強化を重点に行った結果、生産者においても関心が高まり、加工場の整理整頓、着衣の改善が図られた。異物混入防止対策についても、大きく減少しており成果がみられた。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

・昨年の努力目標は工場従事者の意識も一段と高まっており、引き続き実行を推進していく。また、法律の改正に伴い、製造体制の確立、遵守を指導していく。